

(3面からの続き)

八潮PowerUp5 北部と南部を繋ぐ 八潮の総合的発展

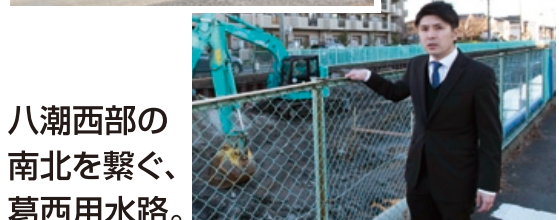
- ①北部パーキングエリアとスマートインターの建設を促進し、自然と教育や新産業を誘致したモデル地区をつくります。
- ②地下鉄8号線を構想段階から「延伸決定」へ。周辺関係自治体と協力して参ります。
- ③中川新堤防建設に合わせ、下妻街道平安の道を観光スポットとして整備します。
- ④東埼玉道路に県主導による農商工複合「八潮道の駅」を建設し、新たな道の駅の展開を進めます。
- ⑤先端産業の誘致と地域企業とのマッチングを支援するとともに、各企業の経営力向上、ブランド化を後押し、本店機能を誘致します。
- ⑥中川堤防沿いにサイクリング道路を整備し、親子ふれあいレジャーランドをつくります。
- ⑦八潮金町線の整備を促進し、レンガ工場跡地利用によるレンガづくりのショッピングモール構想を具体化します。
- ⑧県立中小企業支援センターを設立し、中小企業の情報・研究・資金等のサポート。
- ⑨つくばエクスプレス、仮称新八潮駅の開設と東京駅まで路線延長の実現を目指します。
- ⑩市街化調整区域(495ha)を「自然と賑わい」との調和を軸に調整してまちの新たな発展に役立てます。
- ⑪埼玉県農業大学校の県南拠点を設置し、六次産業化のモデル事業を進め、都市農業を活性化します。



「八潮」を東京への新たな玄関口に！



フラワーパーク、水辺の学校建設中。



八潮西部の南北を繋ぐ、葛西用水路。

個別の地区課題に対応しつつ、大きな視野から八潮全体を捉えることが必要です。八潮は埼玉県の東南部で、東京への新しい玄関口となる可能性を秘めています。その八潮を南部と北部の2つの力で活性化し、快適で洗練された先端都市をこの八潮で実現します。県との密接な連携で、県の進める「埼玉農業の競争力強化」「世界水準の中小企業育成」を先取りして、地域の活力を支える農商工の活性化に取り組みます。

皆様からの声 私たちは宇田川さんの政策に期待します。私たちの声を県政に！



岩崎みどりさん (28歳 主婦)

八潮はこの子にとって、かけがえのないふるさとです。まちに賑わいがあり、豊かな自然と調和する。子どもたちの将来のために、この八潮市がもっともっと素敵なまちになることを願っています。



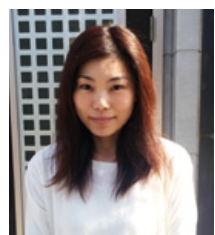
小島杏奈さん (30歳 会社員)

休日に家族みんなで出かける素敵な公園や水辺をつくってほしい。おしゃれなショップやカフェももっと欲しいと思います。そして音楽や芸術の盛んな文化レベルの高いまちが理想です。



鴨原一郎さん (30歳 工場経営者)

政府統計ではアベノミクスの恩恵が出始めていると言いますが、地域産業にはその波及効果は、なかなか届きません。地域経済の活性化のために、政治も大きく動いて下さい。期待しています。



山本裕美さん (40歳 主婦)

八潮に必要なのは、警察署。タバコのポイ捨てする人がやたら多いので、たまに注意しますが、態度悪くて腹立ちます。ポイ捨て無しの、キレイなまち。お年寄りだけでなく、子育て世代にも住み良いまちが理想ですね。



藤原樹春さん (38歳 会社経営者)

ショップチャンネルでお馴染みの(株)フジワラの藤原樹春です。地元企業をもっともっと応援して、そこから八潮を発展させましょう。そのため政策を望んでいます。私たちも力を合わせて頑張ります。

宇田川ゆきお 政策委員長の事務所です。

●埼玉県八潮市中央1丁目5-21 TEL.048-996-7551

連絡先 八潮絆の会 ●埼玉県八潮市八條395

八潮PowerUp555計画発表！！

「八潮」はもっとお洒落で快適なまちになる！ 埼玉県で「八潮」を東京への新たな玄関口に！

5つのテーマ、55の政策骨子を発表。皆様との意見交換の結果です。(第一次案) 中面をご覧ください>>>



大山市長と「八潮の夢」に力を合わせて…。

政策委員長

宇田川 ゆきお さん

宇田川ゆきおさんが思いを語りました。

足立、葛飾に隣接し、つくばエクスプレスで秋葉原から19分の八潮は、今後、埼玉県の中で東京への玄関口になりえます。それに相応しい、もっとお洒落で快適なまちにしていきたい。川と豊かな緑に囲まれ、教育・文化の薫り高い先端都市への夢をこの政策に込めました。これはあくまでも第一次案であり、まだまだ皆様からのご意見、ご批判を戴き、より良いものに練り上げていくことが必要です。そして、これらを携えて、埼玉県政の改革を行い、県の中で、八潮を中心とした県東南部に光を当てて行きたいと決意しています。

「未来への責任」「八潮への覚悟」を持ってこれからも前進を続けて参ります。 八潮絆の会 政策委員長 宇田川幸夫

宇田川ゆきお政策委員長プロフィール

●昭和53年八潮市八條生まれ●八潮市立八條中学校卒業●浦和実業学園高等学校卒業●東京コミュニケーション専門学校卒業～音楽の道へ●八潮市議会議員選挙にて初当選●

専修大学法学部中退●平成21年、八潮市議会議員選挙にて二期目当選●平成25年八潮市の発展には県政との連携が必要と市議会議員を辞し、政治活動中 ●所属団体：八潮市商工会青年部、八潮市消防

団、八條有志クラブ、尾上劇団顧問部長、川をきれいにする会、郷土研究会監事、史跡保存会理事、八潮ローンボウルズ愛好会理事、音楽チャリティサークルBeatingStone、地元バスケットボールチームygddrasil

宇田川ゆきお政策委員長が発表!!

政策の詳細はWEBで!
宇田川ゆきお政策委員長のホームページは <http://udagawayukio.com/>

八潮^絆の会 NEWS Vol.4
ブログはコチラ



八潮PowerUp555計画「八潮」を東京への新たな玄関口に!

八潮PowerUp1 まちをもっと安全・安心に

- ①八潮市内の交番を4カ所から6カ所に増やし、警察官の常備待機を進め、安心なまちを実現します。
- ②道路信号を増設し、歩行者の安全と自動車の渋滞解消を目指します。
- ③道路標識やガードレール整備をし、八潮市内を交通安全モデル地域に指定します。
- ④洪水に備えるために排水機場を強化し、土のう置場や移動式ポンプを配備します
- ⑤中川、綾瀬川などの護岸整備の優先順位を高め、速やかに工事に着手します。
- ⑥県立高校2校を特殊避難所に指定し、お年寄りや障がい者などの弱者専用施設に整備。
- ⑦大場川マリーナに非常用栈橋を設け、緊急時の水上交通による物流手段の確保をします。
- ⑧中川やしおフラワーパークにヘリポートを建設し、緊急時
- の病人搬送等に備えます。
- ⑨エコポートを導入し、平常時は親水意識の高揚をはかり、非常時は避難用に活用します。
- ⑩県と市の連携により、国や県の高層建築、高層住宅所有者との水難・避難互助協定の締結を推進します。
- ⑪民間交番を充実し、地域の連携をすすめながら犯罪防止のための制度を作ります。

◆
地域住民の命と財産を守ることは、政治の本分です。安心して暮らせるまちの実現には、防犯対策を充実させ、埼玉県との連携を図り、市民の防犯活動の意識の向上と防犯設計(CEPTED手法)によるまちづくりを進めます。さらに水害・洪水に対し、治水安全度を高め、東日本大震災の教訓をもとに地震に対する広域的な防災体制を県、市と確立します。

八潮PowerUp2 子育て・教育の環境と質を向上

- ①県との連携で0歳児から高校生までの医療費無料化を目指します。
- ②超少子高齢化社会が進展する中で埼玉県独自の3人目以降の補助制度を八潮から提言。
- ③出産一時金制度の拡充を八潮市プラス地域割り増し分で支援し、出産環境を整えます。
- ④乳幼児の健やかな発育のため、乳幼児検診の回数を増やすとともに、保健センターなどに子育てサポートカフェを併設し、気軽に検診・相談でき、総合的な子育て支援ができるように機能を充実。
- ⑤小中一貫教育を進め、八潮市内の小中学校の教育水準向上を目指します。
- ⑥埼玉県東部教育事務所と協力し、優秀な教員を八潮市内の小中学校に確保します。
- ⑦八潮高校周辺の環境整備を進めるとともに、県立高校に
- 専門講座を開設し、個性ある高校として魅力を高めます。
- ⑧幼保小の連携を強化し、八潮発日本の幼児教育モデル地域を創設します。
- ⑨市の進める首都圏との大学連携を後押しし、教育や産業に研究成果を生かすとともに、私立大学附属高校の八潮市内設立の可能性を検討します。
- ⑩青少年の自然教育の充実を目指し、中川河川敷に県立野外活動センターを設置します。
- ⑪1000年を超えた八条遺跡の調査報告をもとに県レベルでの紹介、啓発に取り組みます。

◆
県との連携を強め「教育充実都市」を目指します。良い教育のあるまちは、地域の力を高め、次代の発展を産み出します。首都圏の子育て適齢期世代を呼び込み、八潮の活力アップと人口増を図ります。

八潮PowerUp3 地域医療・福祉の充実

- ①県費を導入し、社会福祉協議会の運営補助を通じ、新たな役割分担を強力に推進、施設の充実も図ります。
- ②救急医療と救急車の機能を拡大させるための機器補助成制度を確立します。
- ③草加保健所八潮分室(仮称)を設け、きめ細かな保健所業務を遂行します。
- ④県と地域医療機関との連携を進め、緊急時や高度医療を含めた地域医療の充実を図ります。
- ⑤埼玉県と八潮市が協力して障がい者のための入所施設を充実、働き場の確保を進めます。
- ⑥県、市との連携で、保育、介護、医療従事者などを含めた勤労者の労働環境の向上を図ります。
- ⑦お年寄りの介護施設については、県・市・民間活力の協働により整備します。
- ⑧お年寄りの生き甲斐増進に向けて県営公認グランドゴルフ場などを八潮市に設置します。
- ⑨高齢者の社会参加、推進に向け、シルバー人材センターやグループホーム等を充実します。
- ⑩働きたい女性のために就労センターを新設し、社会参加と生きがいサポートを充実させます。
- ⑪DV被害の女性を保護するため、警察・保健所・市が一体となった支援と解決への体制を築きます。

◆
医療や福祉は密接に結びついています。特に女性の方々への負担も高いことから埼玉県の「埼玉版ウーマノミクス」政策と組み合わせ、女性の方々の負担軽減を図ることが重要です。医療・福祉の充実、家計にも優しい手厚いサポートの実現を目指します。そして「健康寿命80年」を八潮市で実現しましょう。

八潮PowerUp4 都市基盤・環境の整備

- ①市内の都市軸道路(国道・県道)について優先順位を先行させながら早急に整備します。
- ②県道の道路段差を解消しながらバリアフリー化を積極的に進め、安全なまちをつくります。
- ③県道整備に関しては、新たに街路樹を植えたり、補植しながら環境整備に取り組みます。
- ④道路の補充や清掃に関しては越谷土木事務所と連携体制を強化してまいります。
- ⑤新橋建設や老朽化した橋の架け替えを進め、良好な交通環境の実現に全力を尽くします。
- ⑥観光と賑わいを創り出すため、川を利用した舟運を見直し、川の駅構想を具体化するために県との調整を進めます。
- ⑦綾瀬川、葛西用水の親水化を進め遊歩道ネットワーク化を図ります。
- ⑧中川河川敷を利用した水と
- 案して参ります。
- ⑨自転車優先レーンや専用道を整備し、歩行者に優しいまちづくりを推進します。
- ⑩電線地中化を計画的に進め、環境に配慮した豊かな水と緑の回廊公園構想を実現します。
- ⑪県の進めるエコタウンプロジェクトと連携し、自然エネルギーなどを用いた環境に優しい地域づくりを進めます。

◆
八潮市は都県境、市境とのアクセスが課題です。老朽化した橋(潮止橋・八条橋・柳の宮橋等)の架け替えや、交通網の整備を進め、都市機能の向上を図ります。さらに、まちの快適性を高め、川の水を浄化、エコや環境にも配慮します。県の「みどりと川の再生」施策の成果を活かし、八潮独自の川の文化を育み、まちの個性と魅力につなげましょう。

(4面に続く)



大山市長、多田前市長、新藤旧大宮市長とともに八潮の未来を考える。



上田県知事とガッチリ握手! 知事からの信頼も厚い。



政策を語る
宇田川ゆきお政策委員長



いろいろな集まりに伺い、皆様の声を直接拝聴する。



3月19日に行った集会で、宇田川ゆきお政策委員長が、今後の活動への決意と政策の中間報告を行いました。



活動への決意と政策の中間報告には600名の方々が詰めかけ、期待の大きさを示すこととなりました。(八潮メセナ大ホール)